

一人1台端末を活用したやり取りの練習と改善への工夫 (NEW CROWN English Series 1 Lesson 3 Our New Friend)

①話・や

②一斉

②個・学

②個・表

③タブ

【ここがポイント！】

④Google Jamboard

①「Google Jamboard の背景と付箋の機能の活用」

自分が紹介したい好きなものや人などの写真を Jamboard に貼り付ける。次のページにその写真の内容を説明する時に使う語句を付箋で貼り付ける。写真を見せながら相手に紹介し、そのやり取りを繰り返す中で、使える語句の付箋を増やしていく。

②「録画での振り返りによる自己の取組の改善」

自分のやり取りの様子を映像で振り返ることで、自分の発話内容を客観的に見ることが出来る。そこで、自分の改善すべき点や言えなかった表現を明確にし、次時に改善ができるよう自分で調べたり、教師に質問をしたりする。

【実践の目標】

Jamboard 上の写真を見せながら、好きな有名人やキャラクターについてのクイズを出し合い、やり取りを続けることができる。

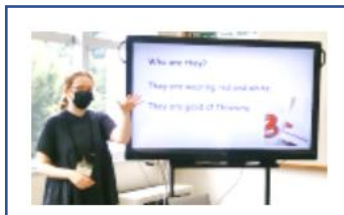
【実際の場面】

1. やり取りのための Jamboard の準備

自分の好きな有名人やキャラクターの写真を Jamboard に貼り付けた。次のページにその写真の内容を説明する時に使う語句を付箋で貼り付けた。

2. モデルとなるクイズの確認

教師によるクイズ、また、前日の授業で行ったA L Tからのクイズの様子を録画したものを確認し、クイズの出題の仕方を理解した。



3. ペアで写真を使ったやり取り

写真の一部を見せながら“Who”を使った3ヒントクイズをペアで行った。クイズだけでやり取りを終えるのではなく、その内容に関連する会話を1分間続けることを目標にして取り組んだ。

4. 中間評価

代表のペアが全体の前でやり取りを行い、良い点や改善点を生徒同士で考えるなどして、全体で共有した。

5. やり取りの様子の録画

3人組を編成し、2人のやり取りの様子を1人がタブレットで撮影した。

6. やり取りの動画の確認

ヘッドセットを使って個人で自分のやり取りの様子を映像と音声で確認した。

7. 付箋の追加

やり取りの中で自分が言いたかったけれど、言えなかった表現や新たに自分が使った表現などについて付箋を追加し、内容を整理した。

【成果と課題】

【成果】

○単元を通して、様々な題材を用いて Jamboard を使ったクイズを繰り返し行ったため、生徒たちは効果的にタブレットを活用し、自分のやり取りの様子を見たり、付箋を使ったアイデアマッピングを作ったりすることができた。また、どうすればやり取りを継続させることができるのか考えることができ、ペアでやり取りを続けようとする意欲の向上につながった。

【課題】

○生徒同士が Jamboard を共有する時間を設けたり、この単元で作った付箋を整理したりする時間の確保が必要である。そのことにより生徒の使える表現の幅が広がり、更なる生徒の言語活動の質の向上、量の増加が見込まれたと考えられる。

東広島市立河内中学校

